

えがお かがやく

令和7年度

南越前町立河野小学校

学校だより

第26号 令和7年7月16日

南越前町のよいところ (3・4年生)



3・4年生は、総合的な学習の時間に「南越前町のよいところを調べよう」というテーマで探究学習をしています。7/4には、今庄方面（そば道場、やすらぎ）、7/11には、南条方面（花はす温泉、そまやま、ひのの実、道の駅南えちぜん山海里）に出かけ、グループで取材をしてきました。2学期には、河野方面を調べた後、まとめをして地域に発信する予定です。

さわやか集会③

7月のさわやか集会では、縦割り班ごとに、4年生が南越前町のよいところを発表しました。作成した原稿メモを活用し、スムーズに伝えることができました。



パラスポーツ出前講座 (5・6年生) 7/11



しあわせ福井スポーツ協会から4人講師の方に来ていただき、陸上競技（伴走）と、卓球バレーを体験しました。子どもたちは、視覚障がい者ランナーとして活躍されている、陸上競技（伴走）の講師、青竹さんから、事前に、日常生活の動画を見せていただいていた。当日、青竹さんのお話を聞くときには、実際の様子を思い浮かべながら聞くことができました。伴走者の方からは、視覚障がいの方と伴走するにあたって気を付けることを教えていただきました。その後、実際に伴走ロープとアイマスクを使い、コースを歩いたり走ったりして、視覚障がいの方と伴走者の両方の立場で体験をしました。また、卓球バレーでは、障がいのある方も同じように楽しめるスポーツとして工夫されているルールを聞き、2グループに分かれて、ゲームを楽しみました。子どもたちは、これらの体験を通して、障がいに対する理解を深めることができました。

パラスポーツは、目が見えない人のために工夫してルールを変えていいと思いました。卓球バレーで、目が見えないようにしてやってみたとき、音を聞いてするのが難しいと思いました。目が見えない人は、音を聞くこと、さわることや、においていろいろなことが分かります。いつも同じ場所に行くときは、歩数や感覚で場所が分かったと知りました。

2人で走ってみて、目が見えない人をゆうどうすることや目が見えない状態で走ることは難しいと思いました。なぜなら、ゆうどうするときは、相手の走る速さに合わせないと行けないし、うまく方向を伝えないといけないからです。そして、走るときは、他の人から指示がないと自分がどこを走っているかも分からなくなったからです。私は、これから、目が見えない人がいてこまっていたら、相手を不安にさせないようにしていきたいです。